

公益財団法人 国際医療財団、一般社団法人 国際歯科医療安全機構 共催  
医科、歯科医療従事者、介護福祉事業者向け

## 【緊急開催】第2回新型コロナウイルス感染対策セミナーのご案内

ご挨拶

第1回緊急感染対策セミナーはCOVID-19第6波オミクロン株による感染急拡大に直面するさなか、去る2月12日に東北大学歯学研究科小坂健教授に特別講演をお願いして開催致しました。2週間の準備期間にも拘わらず520名の参加をいただき、またその後も大きな反響を頂戴し実況動画が歯科界のみならず、病院、医科診療施設、介護施設、高齢者施設などに拡散いたしました。そのままCOVID-19は最終的に収束するかと期待されましたが、最近になって怖れていたオミクロンBA.2株を主軸とした第7波襲来の兆しが顕著になってきたことに鑑み、第2回セミナーの開催を思い立ちました。

今回は国立国際医療研究センター病院、国際感染症センター長 大曲貴夫先生にご講演いただき、BMSA 瀬島俊介理事長、大阪大学歯学部阪井丘芳教授、口腔ケアの鼻祖静岡県開業米山武義先生、ご友人の産婦人科山道先生を講師としてお招きいたします。

口、鼻、眼が一般に最大の感染現場であると指摘されておりますが、特に感染者の鼻咽腔と口腔特に唾液中にはウイルスが濃厚に存在していることは証明されています。また飛沫（核）感染伝播の担い手は唾液であることを考えると、不顕性感染者が無検査のまま歯科医院を訪れることは日常的であり、歯科臨床現場で院内感染が発生することは自明の理と思われまますが実際にはこのパンデミック中わずか2件に留まっています。

歯科医療者は伝統的にいつもマスクを着用し、それに術者および患者ともども「ウガイ」を適切に励行しています。このマスクとウガイが鍵を握っていると前回にも指摘しております。特にウガイについては100年前のスペイン風邪の時には国民に対する内務省の感染拡大予防の基本マニュアルには、手洗い、マスク、ウガイとされていますが、不可解なことに今回のCOVID-19ではウガイが外されています。これらの点について演者の先生がた、さらに医療現場、政府、地方自治体、それに専門家の先生がたのご見解を伺い、ご同意をいただければ勇気を出して一般に発信したいと考えています。ウガイをしたところで生体への有害事象はありません。どの洗口薬でウガイをしてもSARS-COV-2ウイルスの感染価を4桁下げることが瀬島先生によって立証されています。さらに現在東大、阪大で実証試験をお願いしているところです。今回のセミナーのご案内は前回関心を寄せていただいた医療者、介護者他各位にも差し上げます。

令和4年4月3日

(公財) 国際医療財団理事長、(一社) 国際歯科医療安全機構理事長

総合南東北病院歯科口腔外科

瀬戸皖一

1. 名称 第2回（緊急開催）感染対策セミナー

2. 開催日時：

令和4年4月21日（木）19：00～21：00 zoom ウェビナーによるオンライン開催

3. 公益財団法人国際医療財団 HP <https://ihf.asia> よりお申込みください

お申込み確認後、zoom ウェビナーアドレスをお送りします

4. 講師ならびに講演演題

- 導入ならびに総括討論司会（19:00～19:05）： 総合南東北病院歯科口腔外科 瀬戸皖一
- 講演1（19:05～19:40） 国立研究開発法人国際医療研究センター  
国際感染症センター長 大曲貴夫

COVID-19 への動向

COVID-19 の出現から2年以上が経過した。当初重症化率と死亡率が高く、これに対する治療薬とワクチンの開発と診療耐性の整備が大きな課題であった。これらに一定の目処はつき、オミクロン株の出現で重症化リスクは低減はした。しかし一方で大流行が起るようになり、これに伴う医療と社会への負荷が次なる課題となっている。

- 講演2（19:40～20:00） 大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講座  
顎口腔機能治療学教室 教授 阪井丘芳

「COVID-19 と唾液腺～MA-T の有効な活用法について～」

新型コロナウイルスが唾液腺内の ACE2 により口腔内から体内に侵入する可能性が高いことを世界で初めて確認した阪井丘芳先生に、そのメカニズムと最新の対策についてお話し頂きます。

- 講演3（20:00～20:20） 認定 NPO 法人バイオメディカルサイエンス研究会  
理事長 瀬島俊介

「洗口液による新型コロナウイルス感染症予防」

科学的エビデンスを活用した感染症対策 新・生活習慣普及促進研究会の副座長でもあります瀬島俊介先生に、データに基づく感染症対策についてお話し頂きます。

- 講演4（20:20～20:40） 米山歯科クリニック 院長  
特定非営利活動法人 POIC®研究会 会長 米山武義  
産婦人科 清稜クリニック 院長 山道 玄

「感染予防と口腔ケア」

要介護高齢者に対し口腔ケアを実施することが誤嚥性肺炎にかかるリスクを減らすということを1999年に発表し、診療室における新型コロナウイルスによる感染症予防としての含嗽の重要性を提唱されている米山武義先生、ご友人で産科の山道玄先生とともに歯科、産婦人科での対策を対談形式でお話し頂きます。

- 質疑応答（20:40～20:55）

5. 受講料（参加費）3000円 参加費は公益財団法人国際医療財団への寄付とさせていただきます。

問い合わせ：公益財団法人国際医療財団 事務局 和泉逸平 090-3008-2628

<https://ihf.asia>

ipizumi@gmail.com